

# 福生市議会 だより

## FUSSA

No.207

発行 福生市議会  
平成29年7月25日

〒197-8501 福生市本町5番地  
☎042 (551) 1511 (代表)  
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

### 平成29年 第2回定例会



▲ふっさ環境フェスティバル 学童クラブによるステージイベントの様子

▼1日目(6日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を17日間と決定しました。

続いて、全国市議会議長会より表彰された議員へ表彰状の伝達が行われました。(8面に掲載)

その後、4名の議員が一般質問を行いました。

▼2日目(7日)は、5名の議員が一般質問を行いました。

▼3日目(8日)は、4名の議員が一般質問を行いました。

▼4日目(9日)は、市長提出議案及び陳情については、所管の委員会に付託されました。また、

福生市表彰条例に基づく自治功労表彰及び一般表彰については、委員会への付託は省略され、原案のとおり同意することに決まりました。

なお、議員提出議案1件については否決となりました。

▼5日目(22日)は、最終日で、委員会へ付託された市長提出議案4件は委員長報告の後、原案のとおり可決及び同意されました。また、陳情2件のうち1件は不採択、1件は採択となりました。

続いて、新たに提出された市長提出議案7件、委員会及び議員提出議案2件については、慎重審議の結果、原案のとおり同意及び可決され、今定例会を終了しました。

### 本会議の経過

平成29年第2回定例会は、6月6日から22日まで会期17日間で開催され、13名の議員による一般質問が行われました。

また、条例の一部改正、一般会計補正予算など市長提出議案13件、委員会及び議員提出議案3件、陳情2件が審議されました。

## 北朝鮮の度重なるミサイル発射 及び核開発の中止を求め 意見書を提出

委員会提出議案第3号  
駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書(要旨)

駐留軍関係離職者等臨時措置法は、5年の期限延長を経て、平成30年5月16日をもって失効となる。

同法は、昭和33年の制定以来、基地の統合・返還により生じた多数の離職者対策をはじめとして、必要に応じた施策を講じつつ、期限延長を続けてきたところである。

現在においても、在日米軍再編に伴う雇用問題が懸念されている。

よって、福生市議会は、政府等に対し、同法の期限を延長し、日本人従業員の雇用安定確保及び離職者対策に万全を期するよう強く要請する。

(提出先 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長)

議員提出議案第3号  
北朝鮮の度重なるミサイル発射及び核開発の中止を求める意見書(要旨)

北朝鮮は我が国政府はじめ、国際社会からの度重なる自制要請を無視し、弾道ミサイルの発射を行っている。

さらに、北朝鮮はミサイルによる在日米軍基地を標的とする声明を出しており基地のみならず本市を含む周辺地域に甚大な被害が想定され断じて許されない。

また、核開発についても、核開発を中止する意思のないことは明らかである。

よって、政府においては、国民の生命、財産を守るため、国際社会と連携協力し、北朝鮮のミサイル発射及び核開発の中止に向け、あらゆる有効な措置を講じることが強く要請する。

(提出先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長)

### 陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

#### ◆不採択

○介護保険制度の改善を求める意見書の提出に関する陳情書(29-2号)  
(不採択理由)

#### ◆採択

○「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の延長に関する陳情書(29-3号)

今回の介護保険制度の改正は、限られた財源の中、地域包括ケアシステムの深化と推進、また、この制度を持続可能とするためのものであり、意に沿い難い。

### 主な内容

可決された案件	2面
一般質問	3~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面